

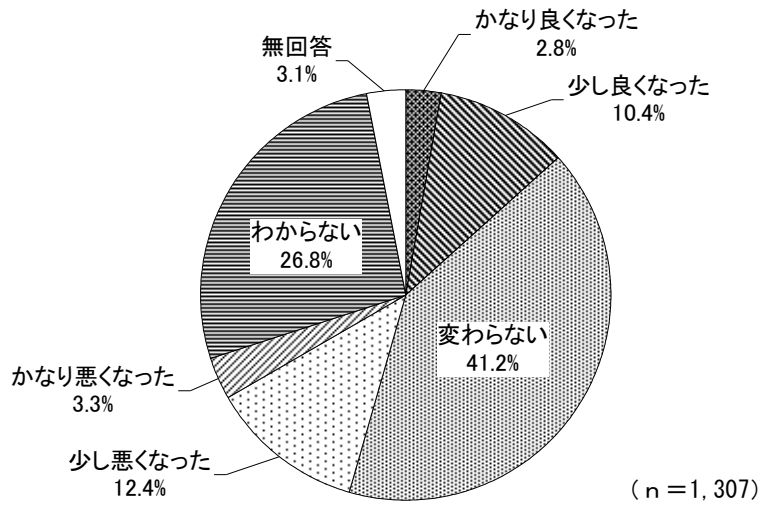
# 17 犯罪と治安対策について

## (1) 県内の治安状況の変化

問41 県内の治安は、この5～6年の間にどう変わりましたか。次の中から1つ選んでください。

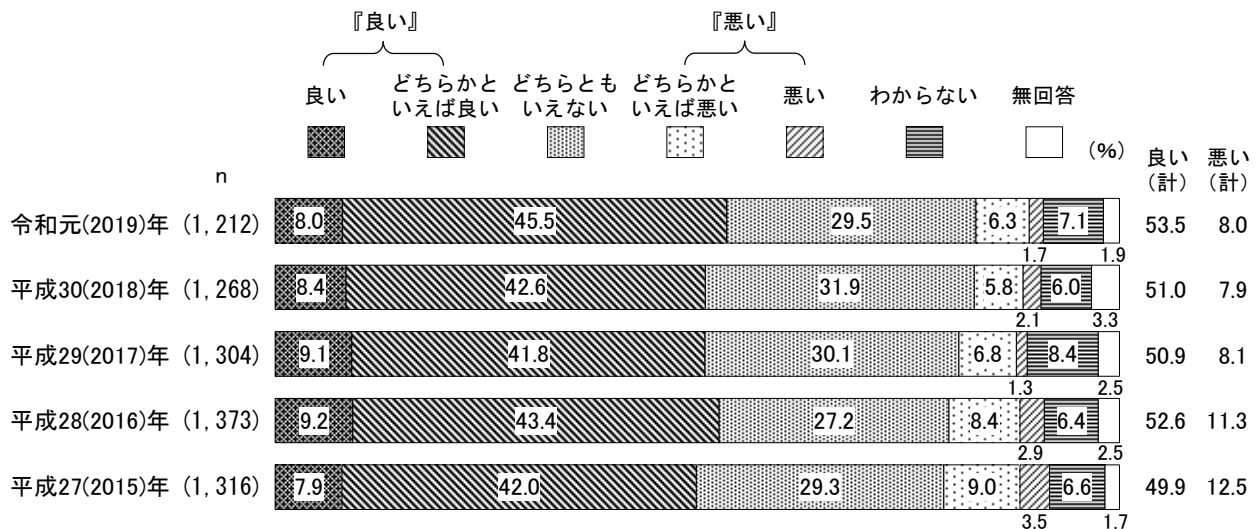
[n=1,307]

1	かなり良くなった	2.8%	4	少し悪くなった	12.4%
2	少し良くなった	10.4%	5	かなり悪くなった	3.3%
3	変わらない	41.2%	6	わからない	26.8%
				(無回答)	3.1%

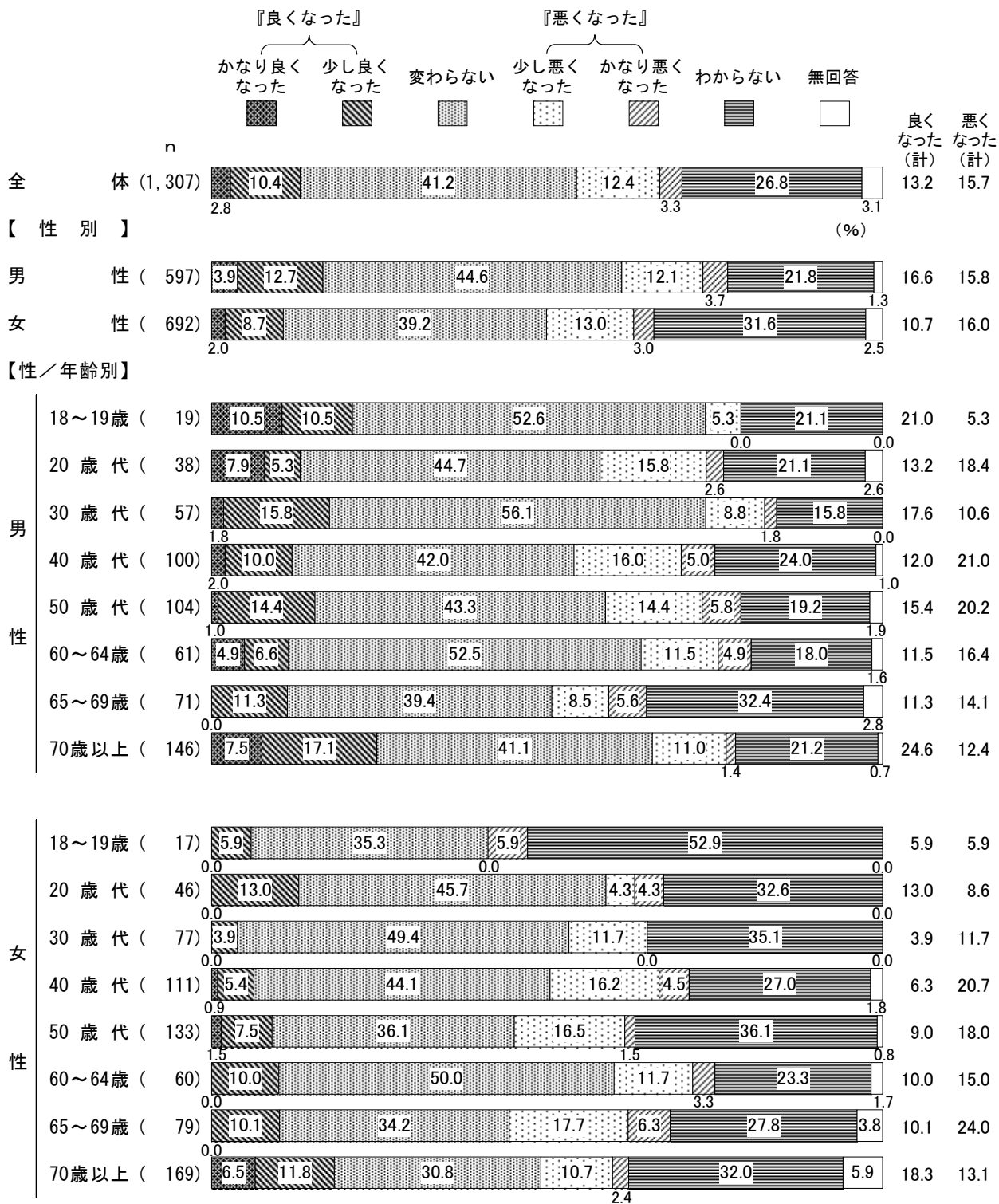


全体でみると、「かなり良くなった」(2.8%)と「少し良くなった」(10.4%)の2つを合わせた『良くなった』(13.2%)が1割を超えている。一方、「少し悪くなった」(12.4%)と「かなり悪くなった」(3.3%)の2つを合わせた『悪くなった』(15.7%)が1割半ばとなっている。また、「変わらない」(41.2%)が4割を超えている。

過去の調査では、「あなたは、県内の治安についてどう感じますか。次の中から1つ選んでください。」と質問していた。また、選択肢も異なるため、参考として過去の調査結果を示す。



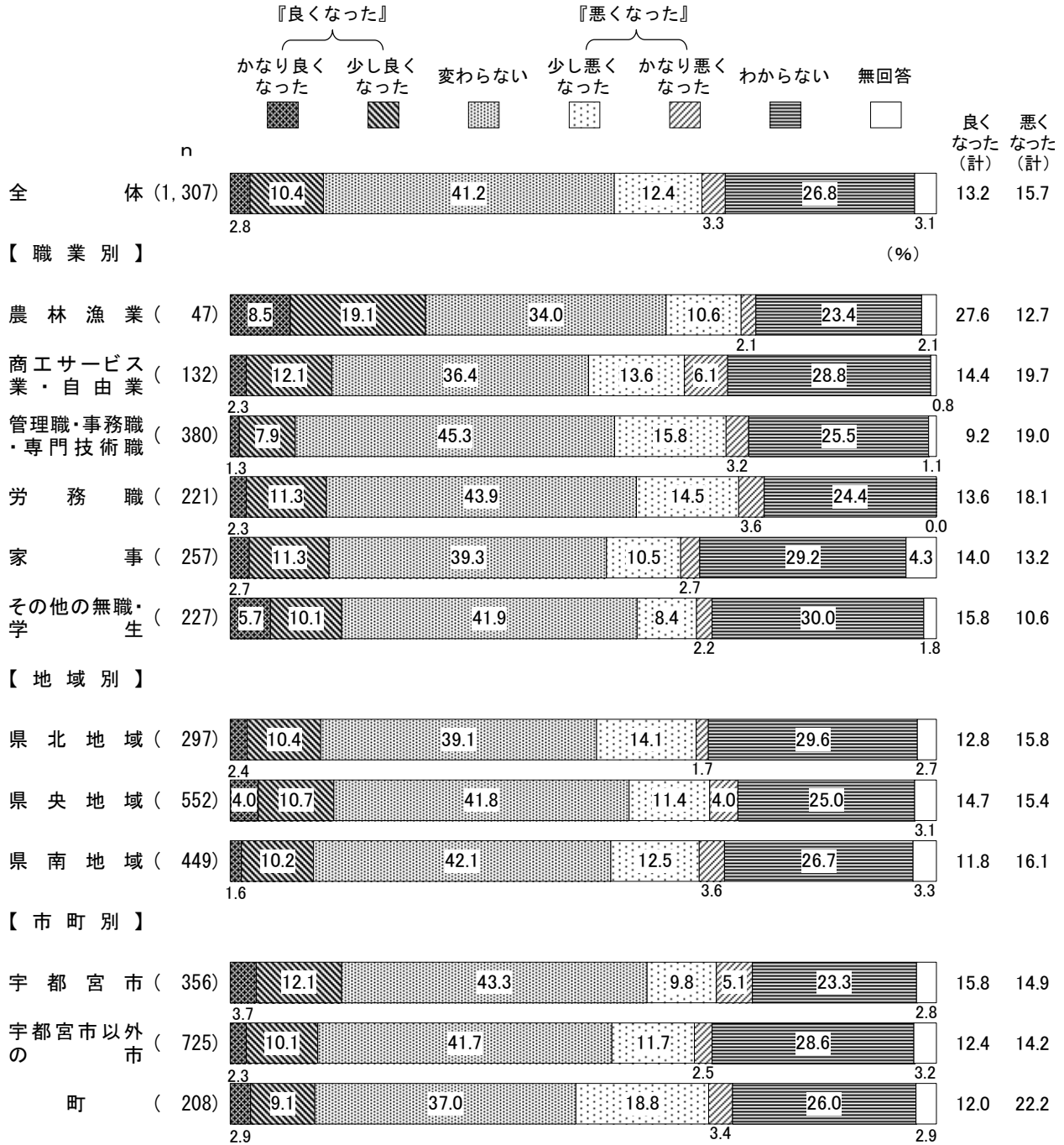
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『良くなった』では〈男性〉(16.6%)が〈女性〉(10.7%)より5.9ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『良くなった』では〈男性70歳以上〉が24.6%と高くなっている。一方、『悪くなった』では〈女性65~69歳〉が24.0%と高くなっている。「変わらない」では〈男性30歳代〉が56.1%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別で見ると、『良くなった』では〈農林漁業〉が27.6%と高くなっている。

地域別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

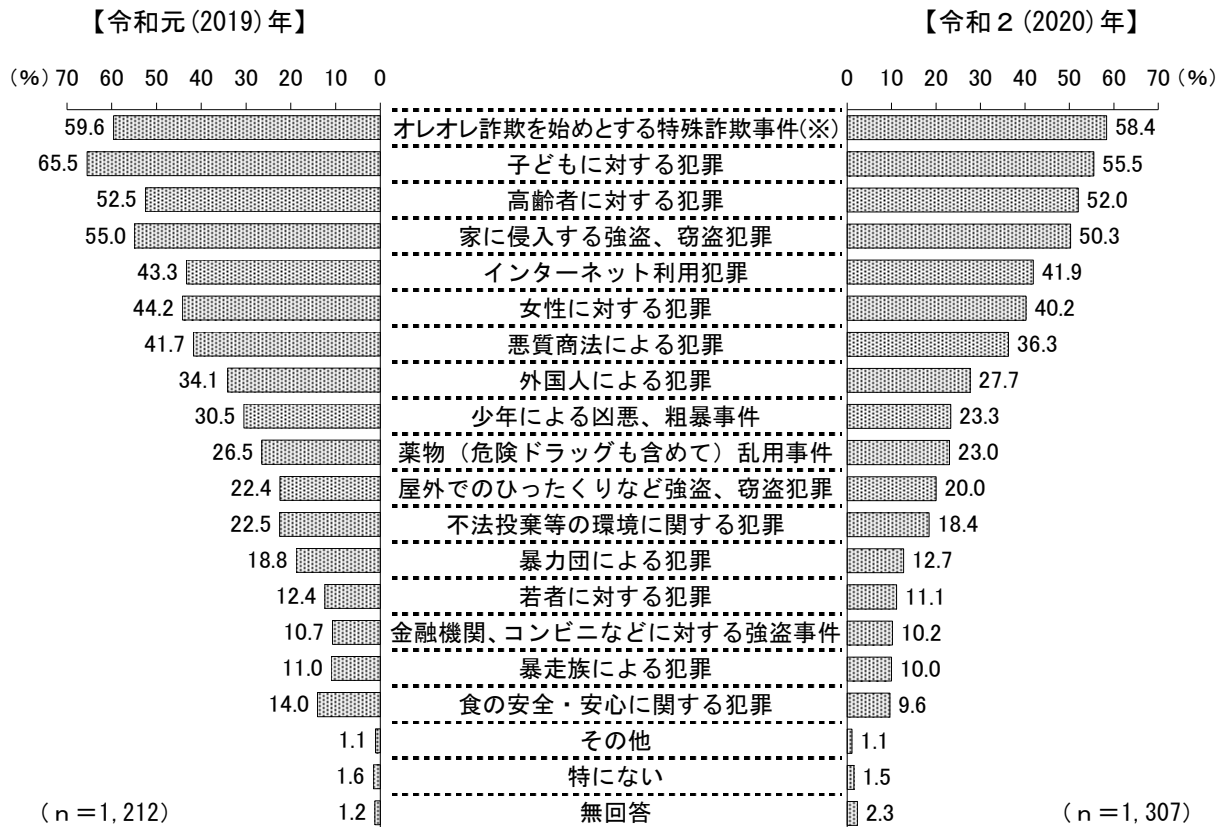
市町別で見ると、『悪くなった』では〈町〉が22.2%と高くなっている。

## (2) 不安を感じる犯罪

問42 あなたは、どのような犯罪に不安を感じますか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,307]

1	子どもに対する犯罪	55.5%	10	暴走族による犯罪	10.0%
2	女性に対する犯罪	40.2	11	家に侵入する強盗、窃盗犯罪	50.3
3	高齢者に対する犯罪	52.0	12	屋外でのひったくりなど強盗、窃盗犯罪	20.0
4	若者に対する犯罪	11.1	13	薬物(危険ドラッグも含めて)乱用事件	23.0
5	オレオレ詐欺を始めとする 特殊詐欺事件	58.4	14	インターネット利用犯罪	41.9
6	金融機関、コンビニなどに対する 強盗事件	10.2	15	悪質商法による犯罪	36.3
7	少年による凶悪、粗暴事件	23.3	16	食の安全・安心に関する犯罪	9.6
8	外国人による犯罪	27.7	17	不法投棄等の環境に関する犯罪	18.4
9	暴力団による犯罪	12.7	18	その他	1.1
			19	特にない	1.5
				(無回答)	2.3

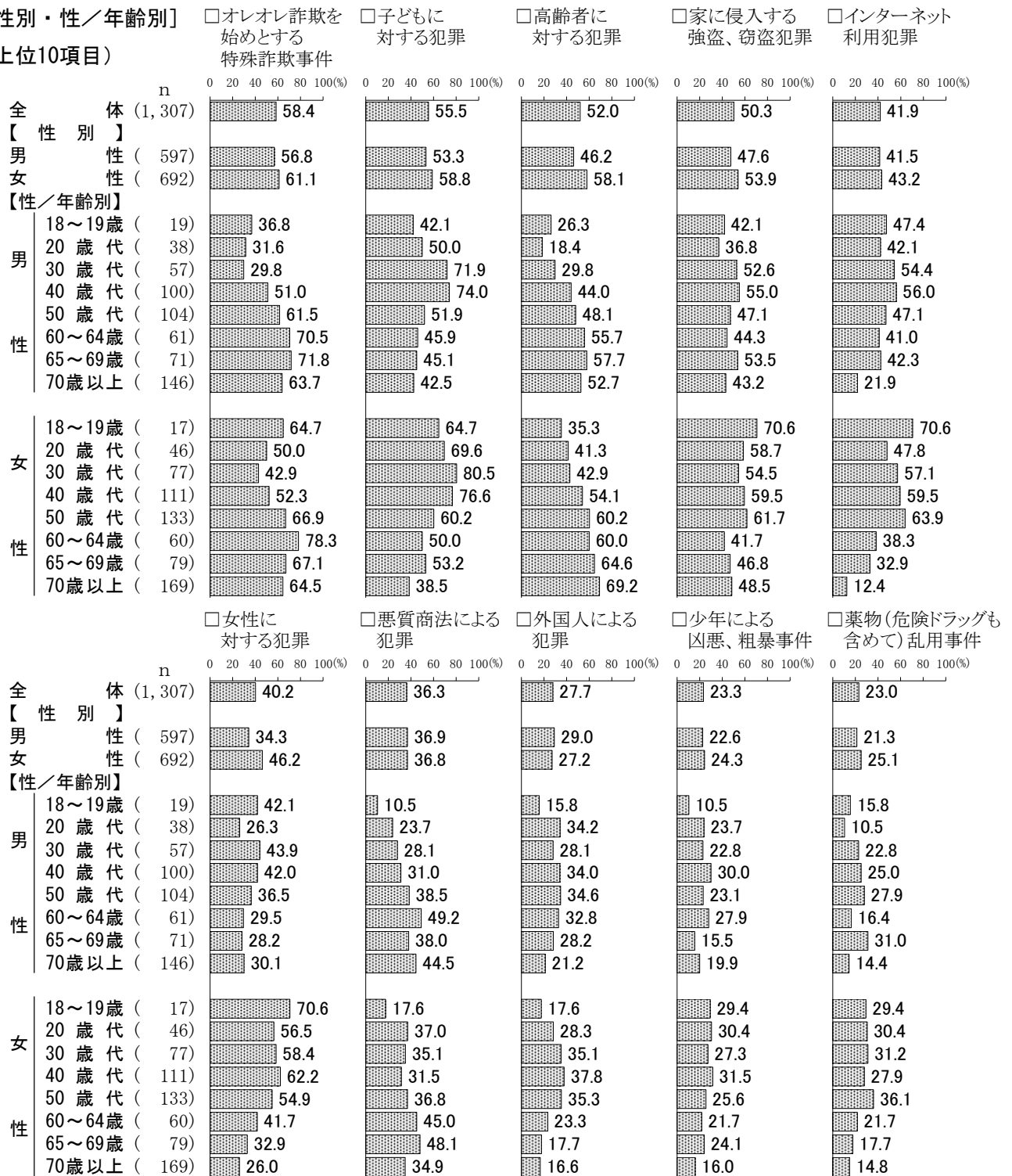


(※)「オレオレ詐欺を始めとする特殊詐欺事件」は、令和元(2019)年調査では「振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺事件」としていた。

全体で見ると、「オレオレ詐欺を始めとする特殊詐欺事件」(58.4%)が6割近くで最も高く、次いで「子どもに対する犯罪」(55.5%)、「高齢者に対する犯罪」(52.0%)、「家に侵入する強盗、窃盗犯罪」(50.3%)、「インターネット利用犯罪」(41.9%)、「女性に対する犯罪」(40.2%)の順となっている。

令和元(2019)年の調査結果と比較すると、「子どもに対する犯罪」が10.0ポイント、「少年による凶悪、粗暴事件」が7.2ポイント、「外国人による犯罪」が6.4ポイント、「暴力団による犯罪」が6.1ポイント、「悪質商法による犯罪」が5.4ポイント、それぞれ減少している。

【性別・性／年齢別】  
（上位10項目）

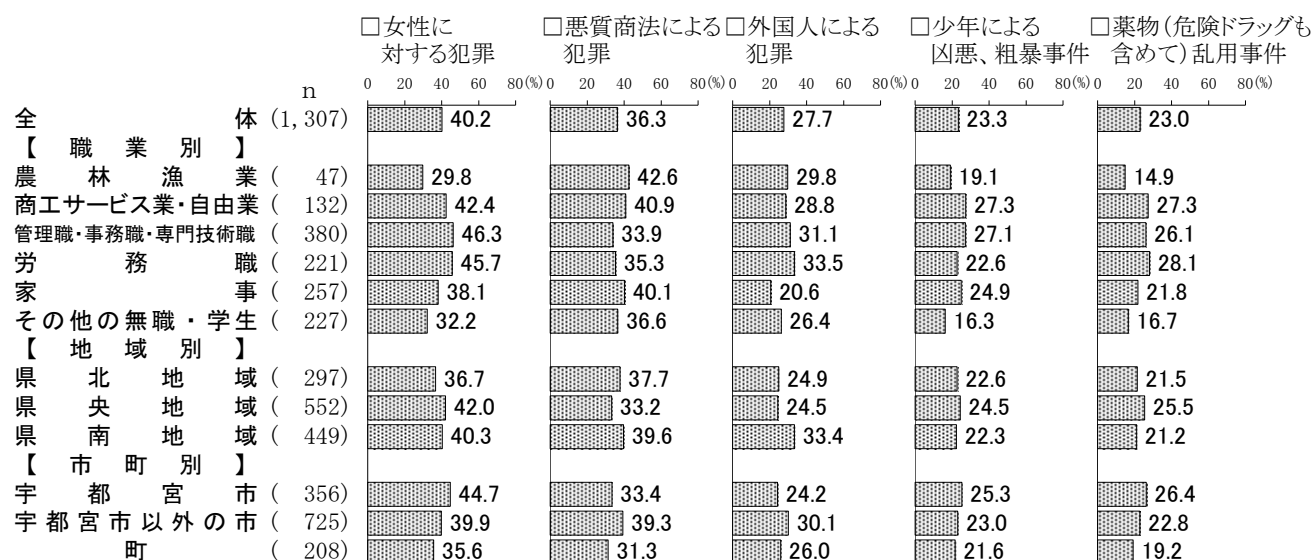
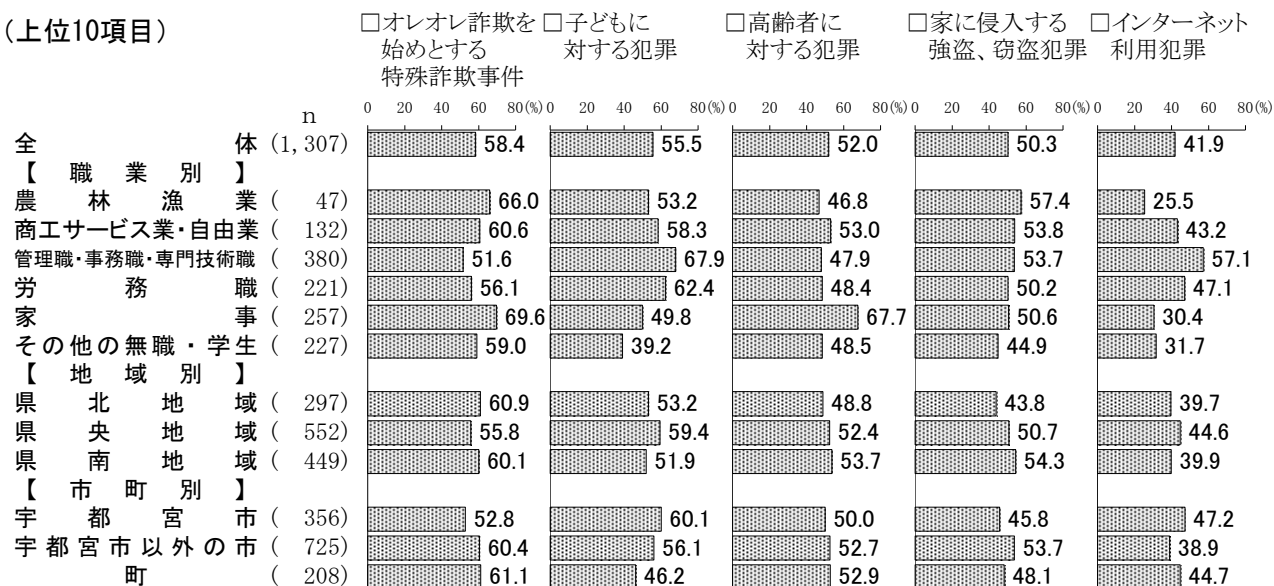


性別で見ると、「高齢者に対する犯罪」では〈女性〉(58.1%)が〈男性〉(46.2%)より11.9ポイント高くなっている。「女性に対する犯罪」では〈女性〉(46.2%)が〈男性〉(34.3%)より11.9ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「オレオレ詐欺を始めとする特殊詐欺事件」では〈女性60~64歳〉が78.3%、〈男性65~69歳〉が71.8%と高くなっている。「子どもに対する犯罪」では〈女性30歳代〉が80.5%、〈女性40歳代〉が76.6%、〈男性40歳代〉が74.0%、〈男性30歳代〉が71.9%と高くなっている。「高齢者に対する犯罪」では〈女性70歳以上〉が69.2%、〈女性65~69歳〉が64.6%と高くなっている。「家に侵入する強盗、窃盗犯罪」では〈女性50歳代〉が61.7%と高くなっている。「インターネット利用犯罪」では〈女性50歳代〉が63.9%、〈女性40歳代〉が59.5%、〈女性30歳代〉が57.1%、〈男性40歳代〉が56.0%と高くなっている。「女性に対する犯罪」では〈女性40歳代〉が62.2%、〈女性30歳代〉が58.4%、〈女性20歳代〉が56.5%、〈女性50歳代〉が54.9%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]

(上位10項目)



職業別で見ると、「オレオレ詐欺を始めとする特殊詐欺事件」では〈家事〉が69.6%と高くなっている。「子どもに対する犯罪」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が67.9%と高くなっている。「高齢者に対する犯罪」では〈家事〉が67.7%と高くなっている。「インターネット利用犯罪」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が57.1%と高くなっている。

地域別で見ると、「外国人による犯罪」では〈県南地域〉が33.4%と高くなっている。

市町別で見ると、「インターネット利用犯罪」では〈宇都宮市〉が47.2%と高くなっている。

### (3) 交通事故を抑止するための対策

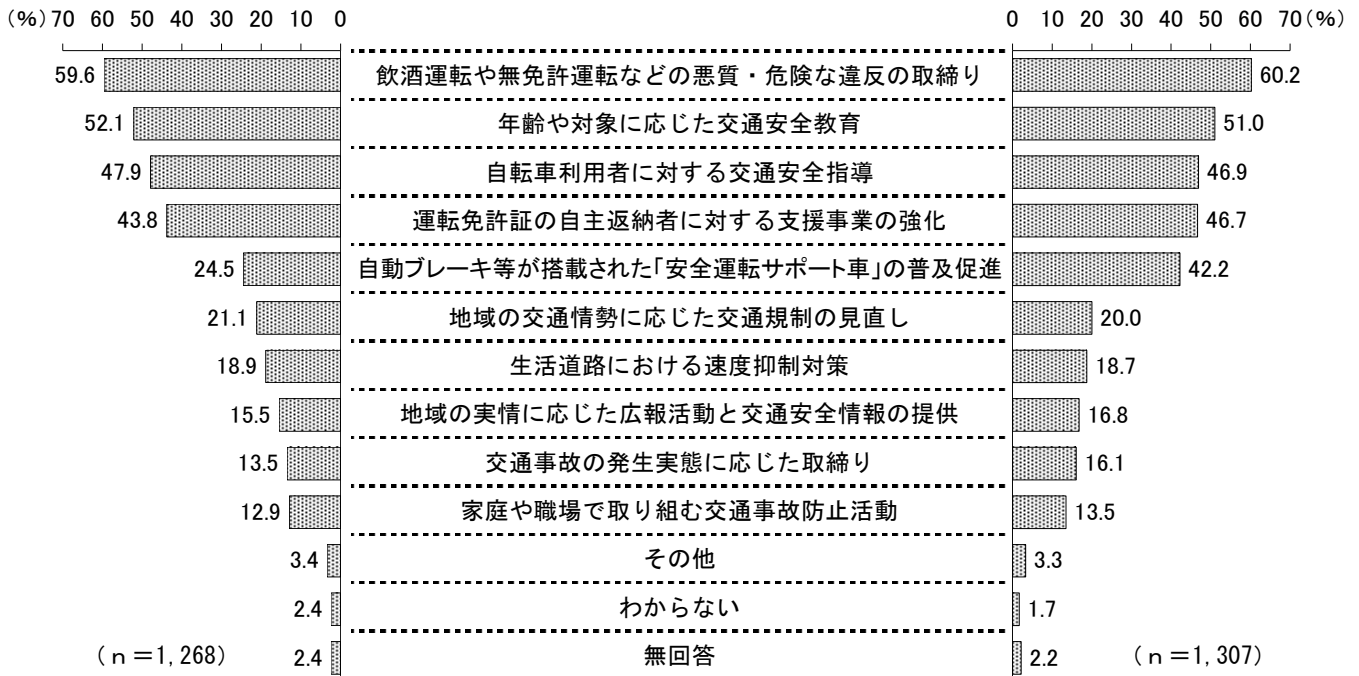
問43 交通事故を抑止する上で、あなたはどのような対策が効果的だと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

[n = 1, 307]

1	年齢や対象に応じた交通安全教育	51.0%
2	家庭や職場で取り組む交通事故防止活動	13.5
3	地域の実情に応じた広報活動と交通安全情報の提供	16.8
4	飲酒運転や無免許運転などの悪質・危険な違反の取締り	60.2
5	自転車利用者に対する交通安全指導	46.9
6	交通事故の発生実態に応じた取締り	16.1
7	地域の交通情勢に応じた交通規制の見直し	20.0
8	生活道路における速度抑制対策	18.7
9	運転免許証の自主返納者に対する支援事業の強化	46.7
10	自動ブレーキ等が搭載された「安全運転サポート車」の普及促進	42.2
11	その他	3.3
12	わからない	1.7
	(無回答)	2.2

【平成30(2018)年】

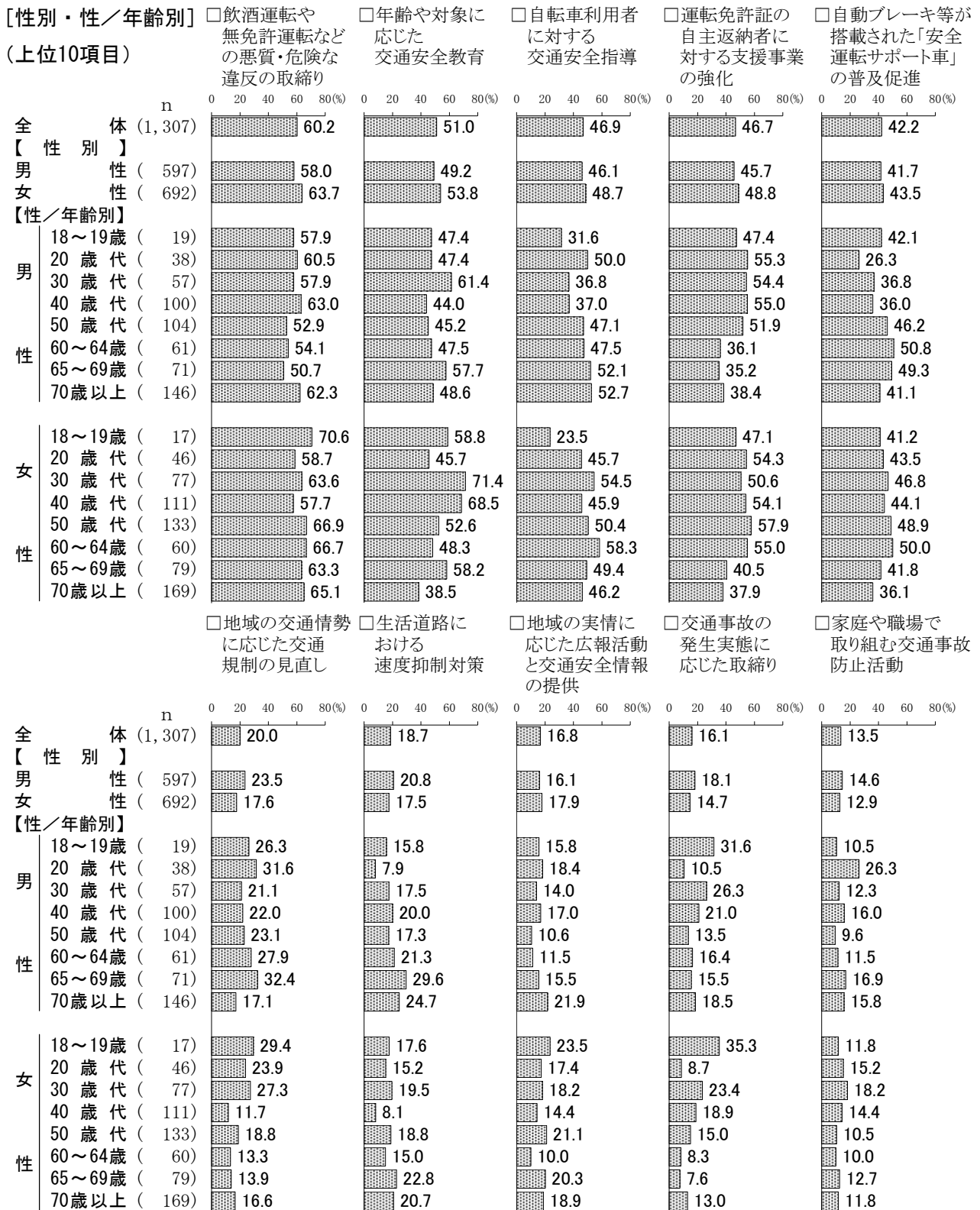
【令和2(2020)年】



全体で見ると、「飲酒運転や無免許運転などの悪質・危険な違反の取締り」(60.2%)が6割で最も高く、次いで「年齢や対象に応じた交通安全教育」(51.0%)、「自転車利用者に対する交通安全指導」(46.9%)、「運転免許証の自主返納者に対する支援事業の強化」(46.7%)の順となっている。

平成30(2018)年の調査結果と比較すると、「自動ブレーキ等が搭載された『安全運転サポート車』の普及促進」が17.7ポイント増加している。

[性別・性／年齢別]  
(上位10項目)



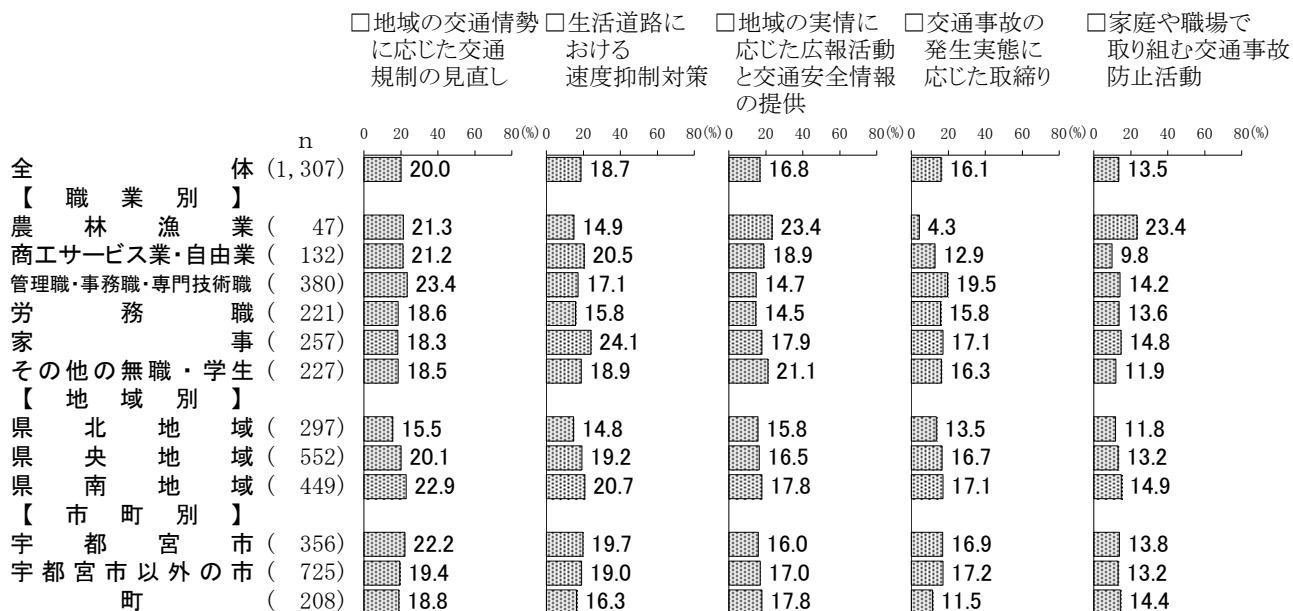
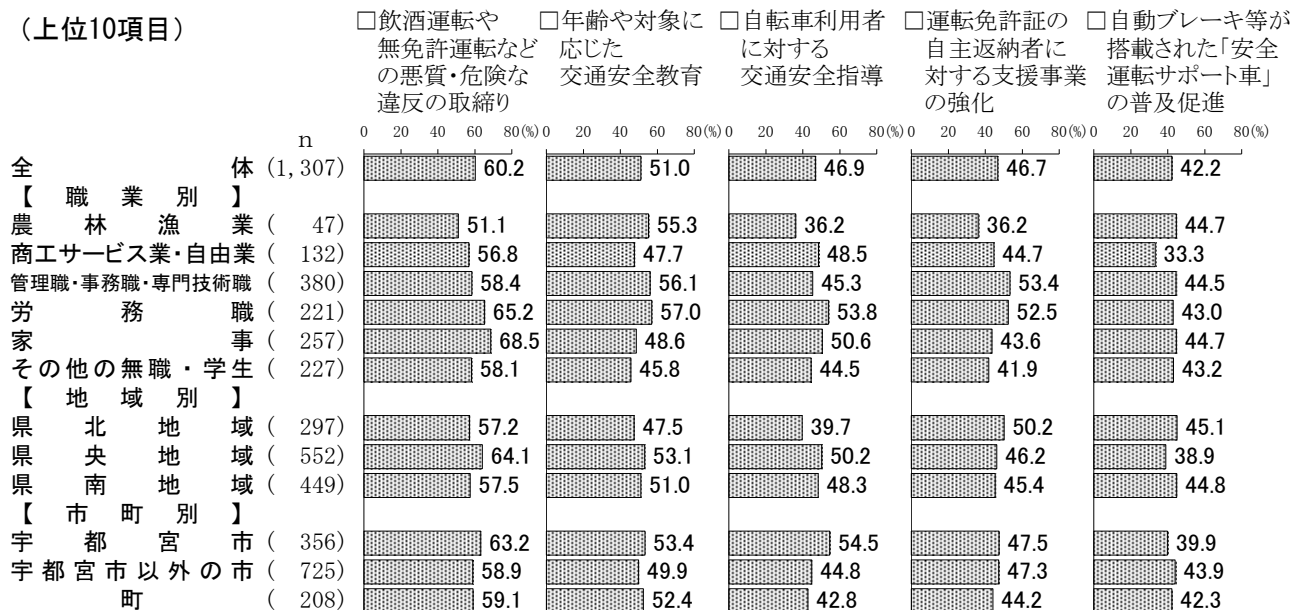
性別でみると、「地域の交通情勢に応じた交通規制の見直し」では〈男性〉(23.5%)が〈女性〉(17.6%)より5.9ポイント高くなっている。「飲酒運転や無免許運転などの悪質・危険な違反の取締り」では〈女性〉(63.7%)が〈男性〉(58.0%)より5.7ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「年齢や対象に応じた交通安全教育」では〈女性30歳代〉が71.4%、〈女性40歳代〉が68.5%と高くなっている。「運転免許証の自主返納者に対する支援事業の強化」では〈女性50歳代〉が57.9%と高くなっている。「地域の交通情勢に応じた交通規制の見直し」では〈男性65～69歳〉が32.4%と高くなっている。「生活道路における速度抑制対策」では〈男性65～69歳〉が29.6%と高くなっている。



[職業別・地域別・市町別]

(上位10項目)



職業別でみると、「飲酒運転や無免許運転などの悪質・危険な違反の取締り」では〈家事〉が68.5%と高くなっている。「自転車利用者に対する交通安全指導」では〈労務職〉が53.8%と高くなっている。「運転免許証の自主返納者に対する支援事業の強化」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が53.4%と高くなっている。

地域別でみると、「飲酒運転や無免許運転などの悪質・危険な違反の取締り」では〈県央地域〉が64.1%と高くなっている。

市町別でみると、「自転車利用者に対する交通安全指導」では〈宇都宮市〉が54.5%と高くなっている。